

令和2年度 灰溶融固形化施設公害防止協議会 次第

日 時 令和3年3月24日(水) 午後3時30分から  
会 場 メルティングセンター佐渡 2階会議室  
(灰溶融固形化施設)

1 開会

2 議題

(1) 令和元年度における各種測定結果について

(2) 令和元年度施設の経過報告について

(3) 灰溶融固形化施設について

(4) その他

3 閉会

令和元年度排ガス等測定結果（太線枠が元年度）

※ダイオキシン類は年1回の測定・ばい煙濃度は年2回の測定

項目	単位	国基準値	自主規制値	平成29年度		平成30年度		令和元年度	
				5月17日測定	12月5日測定	5月22日測定	11月20日測定	5月14日測定	11月14日測定
ばいじん※1	g/m <sup>3</sup> N	0.15 以下	0.03 以下	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満
硫黄酸化物(SO <sub>x</sub> ) 排出量	m <sup>3</sup> N/h	※2	※2	0.0013	0.0011	0.0012	0.0011	0.0015 未満	0.010 未満
塩化水素(HCL)※1	mg/m <sup>3</sup> N	700 以下	81 以下	20	11	12	31	14	80
窒素酸化物(NO <sub>x</sub> )※1	ppm	250 以下	100 以下	78	91	68	87	77	86
一酸化炭素(CO)※1	ppm	100 以下	50 以下	2 未満	20	2 未満	3	4	5
項目	単位	国基準値	自主規制値	7月4日測定		9月25日測定		5月14日測定	
排ガス中のダイオキシン類※1	ng-TEQ/Nm <sup>3</sup>	5 以下	0.1 以下	0.042		0.013		0.075	
飛灰中ダイオキシン類	ng-TEQ/g	3 以下	3 以下	0.56		0.93		0.96	
溶融スラグ中ダイオキシン類	ng-TEQ/g	3 以下	3 以下	0.000000039		0		0.00059	
土壌ダイオキシン類(大川地区)	pg-TEQ/g	1000 以下	1000 以下	8.1		10		7.8	
土壌ダイオキシン類(羽二生地区)	pg-TEQ/g	1000 以下	1000 以下	2.4		2.6		1.6	

※1 O<sub>2</sub> 12%換算値

※2 K値(17.5)を係数とし排ガス量等で算出された値以下

【解説】

N: Normal(ノルマル)の頭文字、標準状態(0°C101.32kPa)のこと。

ppm: 100万分率。ある量が、全体の100万分のいくつかを占めるかを表すときに用いる。

ng: (ナノグラム)10億分の1グラム

pg: (ピコグラム)1兆分の1グラム

TEQ: 毒性当量=ダイオキシン類の実測濃度に毒性等価係数を乗じて得たもの

# 灰溶融固形化施設 周辺土壌ダイオキシン類測定箇所図



## 平成29年度～令和元年度 浴槽水質検査結果

	項目	水質基準	平成29年度	平成30年度	令和元年度
【大浴場】	濁度	5 度 以下	基準値以下	基準値以下	基準値以下
	過マンガン酸カリウム消費量 (人肌から出るホコリ、有機物)	25 mg/ℓ 以下	基準値以下	基準値以下	基準値以下
	大腸菌群数	1 個/mℓ 以下	基準値以下	基準値以下	基準値以下
	レジオネラ属菌数	10 CFU/100mℓ 以下	10CFU/100mℓ未満	10CFU/100mℓ未満	10CFU/100mℓ未満
【小浴場】	濁度	5 度 以下	基準値以下	基準値以下	基準値以下
	過マンガン酸カリウム消費量 (人肌から出るホコリ、有機物)	25 mg/ℓ 以下	基準値以下	基準値以下	基準値以下
	大腸菌群数	1 個/mℓ 以下	基準値以下	基準値以下	基準値以下
	レジオネラ属菌数	10 CFU/100mℓ 以下	10CFU/100mℓ未満	10CFU/100mℓ未満	10CFU/100mℓ未満
○ 入浴者数			5,210人	5,035人	4,424人

### 令和元年度 浴槽水質検査結果 (2カ月に1回、年6回検査)

項 目		水質基準	5月	7月	9月	11月	2月	3月
【大浴場】	濁度	5 度 以下	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満
	過マンガン酸カリウム消費量 (人肌から出るホコリ、有機物)	25 mg/ℓ 以下	1未満	3	3	5	3	1
	大腸菌群数	1 個/mℓ 以下	0	0	0	0	0	0
	レジオネラ属菌数	10 CFU/100mℓ 以下	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満
【小浴場】	濁度	5 度 以下	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満
	過マンガン酸カリウム消費量 (人肌から出るホコリ、有機物)	25 mg/ℓ 以下	2	4	5	6	5	1
	大腸菌群数	1 個/mℓ 以下	0	0	0	0	0	0
	レジオネラ属菌数	10 CFU/100mℓ 以下	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満

#### 【解説】

#### ○ レジオネラ属菌数

- ・10CFU/100mℓ以下：培養して出現する集団数が10以下の集団でなければならない。(基準値)
- ・10CFU/100mℓ未満：菌数の検出限界以下
- ・CFU (Colony forming units)：培養すると出現する集団数

令和元年度 灰溶融固形化施設の放射性物質濃度等の測定結果

(太線枠が令和元年度)

溶融飛灰等の放射性物質				
測定日	測定対象	測定結果(Bq※3 /kg)		
		セシウム 134	セシウム 137	セシウム 計
H29.06.27	溶融飛灰	検出しない	14	14
	溶融スラグ	検出しない	検出しない	-
	不燃物	検出しない	検出しない	-
H29.09.22	溶融飛灰	検出しない	13	13
	溶融スラグ	検出しない	検出しない	-
	不燃物	検出しない	検出しない	-
H29.12.08	溶融飛灰	検出しない	検出しない	-
	溶融スラグ	検出しない	検出しない	-
	不燃物	検出しない	検出しない	-
H30.03.08	溶融飛灰	検出しない	16	16
	溶融スラグ	検出しない	検出しない	-
	不燃物	検出しない	検出しない	-
H30.06.15	溶融飛灰	検出しない	15	15
	溶融スラグ	検出しない	検出しない	-
	不燃物	検出しない	検出しない	-
H30.09.25	溶融飛灰	検出しない	検出しない	-
	溶融スラグ	検出しない	検出しない	-
	不燃物	検出しない	検出しない	-
H30.12.11	溶融飛灰	検出しない	13	13
	溶融スラグ	検出しない	検出しない	-
	不燃物	検出しない	検出しない	-
H31.03.13	溶融飛灰	検出しない	14	14
	溶融スラグ	検出しない	検出しない	-
	不燃物	検出しない	検出しない	-
R1.06.07	溶融飛灰	検出しない	14	14
	溶融スラグ	検出しない	検出しない	-
	不燃物	検出しない	検出しない	-
R1.09.30	溶融飛灰	検出しない	16	16
	溶融スラグ	検出しない	検出しない	-
	不燃物	検出しない	検出しない	-
R1.12.16	溶融飛灰	検出しない	12	12
	溶融スラグ	検出しない	検出しない	-
	不燃物	検出しない	検出しない	-
R2.03.12	溶融飛灰	検出しない	13	13
	溶融スラグ	検出しない	検出しない	-
	不燃物	検出しない	検出しない	-

※ 検出しない 測定対象の核種ごとに定量下限値未満であることを示す

敷地境界の放射線量率	
測定日	測定結果 ( $\mu$ Sv/h) $\mu$ ※1 Sv※2
H29.06.23	0.05~0.07
H29.09.20	0.06~0.07
H29.12.05	0.05~0.07
H30.03.06	0.06~0.07
H30.06.15	0.05~0.07
H30.09.25	0.06~0.07
H30.12.11	0.05~0.07
H31.03.13	0.06~0.07
R1.06.07	0.06~0.07
R1.09.30	0.06~0.08
R1.12.04	0.05~0.07
R2.03.30	0.06~0.08

《注 釈》

※1 マイクロ( $\mu$ )  
基礎となる単位の百万分の1の量

※2 シーベルト(Sv)  
放射線による人体への影響度合いを表す単位

※3 ベクレル(Bq)  
放射性物質が放射線を出す能力を表す単位

※4 ノルマル(N)  
標準状態(0°C101.32kPa)を意味する

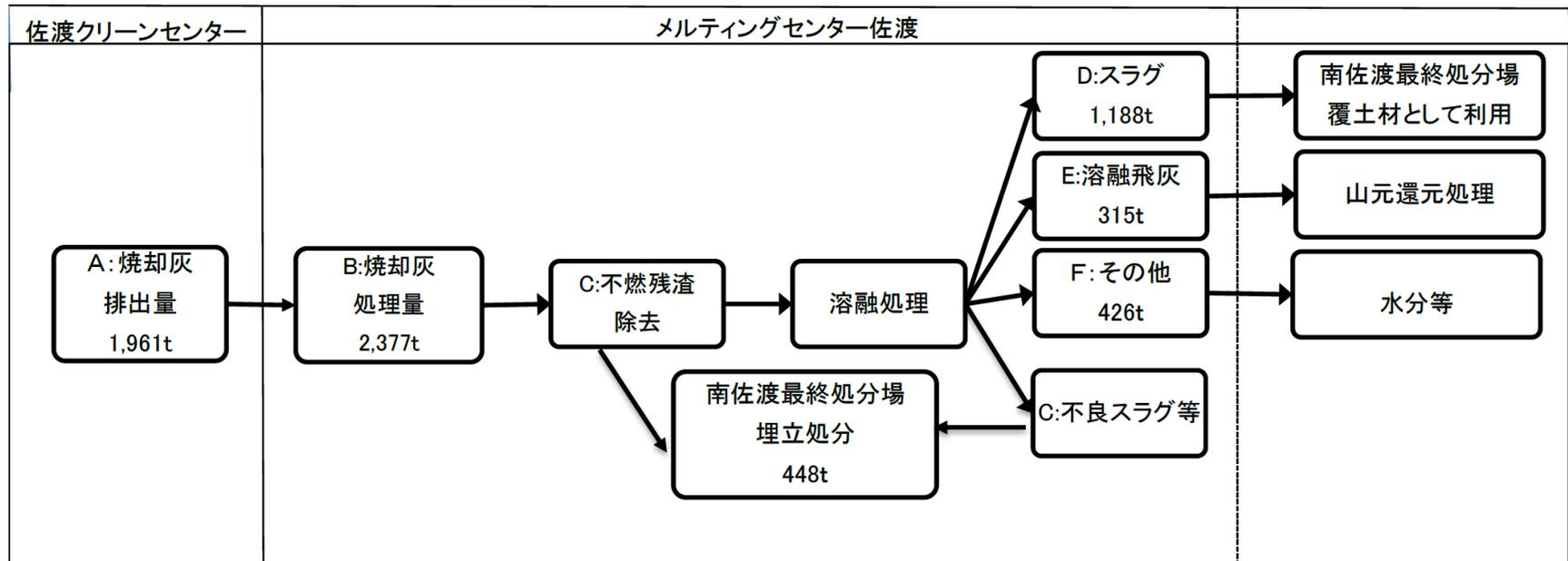
排ガスの放射性物質				
測定日	測定対象	測定結果(Bq/m <sup>3</sup> ※4)		
		セシウム 134	セシウム 137	セシウム 計
H29.11.09	煙突排ガス	2未満	2未満	-
H30.11.20	煙突排ガス	2未満	2未満	-
R1.11.14	煙突排ガス	2未満	2未満	-

## 令和元年度 メルティングセンター佐渡稼働状況

(単位:t)

	A.焼却灰排出量	B.焼却灰処理量	メルティングセンター佐渡			
			C.不燃残渣 (不良スラグ等含む)	D.スラグ	E.溶融飛灰	F.その他
平成29年度	2,010	2,123	332	1,061	325	405
平成30年度	2,030	2,124	371	1,062	299	392
令和元年度	1,961	2,377	448	1,188	315	426

### ○処理フロー



## 令和元年度灰溶融固形化施設の主な修繕箇所(経過報告)

業務番号及び修繕箇所	修繕名	金 額	補修期間
佐環灰第1-13号	定期補修	93,885,000	令和元年7月31日 ~ 令和2年3月23日
修繕箇所			
1	溶融炉耐火物等交換		
2	ガス冷却室マンホール枠補修		
3	クレーン補修		
4	制御盤更新工事		
5	空気予熱器伝熱管補修		
6	排水処理設備補修		
7	給気ファンダクト更新		